



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月14日
東

上場会社名 エスフーズ株式会社

上場取引所

コード番号 2292

URL <https://www.sfoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 鶴木 健治 (TEL) 0798 (43) 1065

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	113,841	3.9	1,822	43.3	1,917	14.0	2,077	209.4
2025年2月期第1四半期	109,600	6.4	1,272	△68.1	1,681	△58.2	671	△81.9

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 2,028百万円(△50.0%) 2025年2月期第1四半期 4,053百万円(△16.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	65.64	—
2025年2月期第1四半期	21.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第1四半期	246,779	130,363	49.5
2025年2月期	230,595	129,864	52.8

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 122,213百万円 2025年2月期 121,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	44.00	—	45.00	89.00
2026年2月期	—	—	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	52.00	—	52.00	104.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	475,000	6.9	7,500	45.8	8,500	33.0	4,500	68.7	142.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年2月期1Q	32,267,721株	2025年2月期	32,267,721株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年2月期1Q	617,779株	2025年2月期	617,676株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年2月期1Q	31,649,976株	2025年2月期1Q	31,635,175株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間における日本経済は、個人消費の伸び悩みにより一部に足踏みがみられたものの、引き続き緩やかな回復基調を示しました。企業においては、人件費の増加や不安定な国際情勢による先行きの不透明感から厳しい状況が続いております。当食肉業界においては、食品価格全体の上昇を受けて消費者の節約志向、低価格志向が継続する中、燃料や原材料の価格が依然として高止まりしている影響もあり、収益確保が困難な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、食肉の生産から小売り・外食まで一貫して携わる食肉事業の垂直統合を戦略的に行っている総合食肉企業集団として、品質の良い食肉商品をお客様に安定的にお届けできる体制の構築と維持に努めました。

食肉等の製造・卸売事業においては、海外事業への先行投資と国内事業の営業力強化、事業運営の効率化に努めました。アメリカのオーロラビーフ新工場建設や国内グループ企業との連携に注力しております。

食肉等の小売事業においては、不採算店舗閉鎖を実施するとともに、新規デベロッパーとの取り組みを含めた出店や改装店の立ち上げを進めました。また新商品の開発も図り、魅力ある商品や売り場の構築等を実施いたしました。

食肉等の外食事業においては、インバウンドや大型のパーティー需要も寄与しているものの、原材料費やエネルギー価格の上昇を受け、メニュー改定を実施するなどの施策を行っており、今後も当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定しています。今後もお客様に安全に安心してご利用いただけるよう日々の店舗運営維持に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,138億4千1百万円（前年同四半期比3.9%増）、営業利益18億2千2百万円（前年同四半期比43.3%増）、経常利益19億1千7百万円（前年同四半期比14.0%増）、有形固定資産売却益を13億4千1百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益20億7千7百万円（前年同四半期比209.4%増）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は1,051億6千9百万円（前年同四半期比3.6%増）、セグメント利益は16億7千7百万円（前年同四半期比75.6%増）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は61億3千2百万円（前年同四半期比4.0%増）、セグメント利益は3億5千2百万円（前年同四半期比20.4%減）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は23億4千9百万円（前年同四半期比19.3%増）、セグメント利益は1億1千8百万円（前年同四半期比35.3%減）となりました。

④その他

売上高は1億9千1百万円（前年同四半期比1.4%増）、セグメント利益は4千3百万円（前年同四半期比41.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて161億8千4百万円増加し、2,467億7千9百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加及び売上高増加に伴う売上債権の増加による一方で、現金及び預金の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて156億8千4百万円増加し、1,164億1千6百万円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴う仕入債務の増加及び短期借入の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて4億9千9百万円増加し、1,303億6千3百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加による一方で、為替換算調整勘定の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、本年4月14日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,606	31,395
受取手形及び売掛金	40,695	51,201
有価証券	-	2,200
商品及び製品	29,305	33,260
仕掛品	6,609	6,197
原材料及び貯蔵品	4,883	4,829
その他	5,471	10,161
貸倒引当金	△95	△122
流動資産合計	128,476	139,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,836	65,115
減価償却累計額	△33,846	△34,145
建物及び構築物（純額）	29,990	30,970
土地	17,307	17,337
建設仮勘定	28,358	28,630
その他	39,617	39,299
減価償却累計額	△32,058	△31,811
その他（純額）	7,558	7,488
減損損失累計額	△2,665	△2,589
有形固定資産合計	80,549	81,838
無形固定資産		
のれん	465	450
その他	1,010	967
無形固定資産合計	1,476	1,417
投資その他の資産		
投資有価証券	14,433	18,411
退職給付に係る資産	206	343
その他	6,340	6,464
貸倒引当金	△886	△819
投資その他の資産合計	20,093	24,401
固定資産合計	102,118	107,657
資産合計	230,595	246,779

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,525	30,819
短期借入金	10,515	16,730
未払法人税等	2,134	1,697
賞与引当金	1,291	1,629
その他	16,122	18,245
流動負債合計	56,589	69,122
固定負債		
社債	150	100
長期借入金	37,569	39,485
役員退職慰労引当金	108	75
退職給付に係る負債	1,728	1,867
その他	4,585	5,764
固定負債合計	44,142	47,293
負債合計	100,731	116,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,824	18,824
利益剰余金	85,940	86,594
自己株式	△390	△390
株主資本合計	108,672	109,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,821	6,296
繰延ヘッジ損益	△24	△58
為替換算調整勘定	9,211	6,566
退職給付に係る調整累計額	90	83
その他の包括利益累計額合計	13,098	12,887
非支配株主持分	8,092	8,150
純資産合計	129,864	130,363
負債純資産合計	230,595	246,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	109,600	113,841
売上原価	98,256	101,507
売上総利益	11,344	12,334
販売費及び一般管理費	10,072	10,511
営業利益	1,272	1,822
営業外収益		
受取利息	185	121
受取配当金	5	7
受取家賃	55	62
持分法による投資利益	1	2
為替差益	119	-
その他	139	153
営業外収益合計	507	347
営業外費用		
支払利息	63	136
為替差損	-	11
賃貸原価	12	14
その他	22	90
営業外費用合計	97	253
経常利益	1,681	1,917
特別利益		
固定資産売却益	3	1,341
投資有価証券売却益	-	53
負ののれん発生益	-	42
特別利益合計	3	1,436
特別損失		
固定資産処分損	5	14
店舗閉鎖損失	-	0
子会社譲渡関連損失	149	-
特別損失合計	154	14
税金等調整前四半期純利益	1,530	3,339
法人税等	688	1,105
四半期純利益	842	2,233
非支配株主に帰属する四半期純利益	171	156
親会社株主に帰属する四半期純利益	671	2,077

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	842	2,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	693	2,481
繰延ヘッジ損益	101	△34
為替換算調整勘定	2,420	△2,644
退職給付に係る調整額	△4	△7
その他の包括利益合計	3,211	△205
四半期包括利益	4,053	2,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,883	1,866
非支配株主に係る四半期包括利益	170	161

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これにより、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	101,547	5,895	1,969	109,412	188	109,600	—	109,600
外部顧客への売上高	101,547	5,895	1,969	109,412	188	109,600	—	109,600
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,977	100	174	2,251	180	2,432	△2,432	—
計	103,524	5,996	2,143	111,663	369	112,033	△2,432	109,600
セグメント利益 又は損失(△)	955	442	183	1,581	30	1,612	△339	1,272

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△339百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△349百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	105,169	6,132	2,349	113,650	191	113,841	—	113,841
外部顧客への売上高	105,169	6,132	2,349	113,650	191	113,841	—	113,841
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,719	83	156	1,959	207	2,166	△2,166	—
計	106,888	6,215	2,505	115,610	398	116,008	△2,166	113,841
セグメント利益 又は損失(△)	1,677	352	118	2,148	43	2,191	△369	1,822

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△369百万円には、セグメント間取引消去27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△396百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	1,076百万円	995百万円
のれん償却額	21百万円	36百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。